

科目名 (英)	介護実習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	(Nursing Care Practice Ⅱ)	授業 形態	実習	総時間 (単位)	150	開講区分	前期
学科・コース	介護福祉士科					曜日・時限	
【授業の学習内容】 社会福祉現場における専門職としての専門知識や技術を具体的な経験を通して、実践の応用能力が習得できる。 個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を統合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力が修得できる。 施設利用者の生活の場を知り、利用者への理解を深め、利用者の思いを実現する学びとする。またICFの視点に基づき、利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる能力が持てる。利用者の状態や状況を把握した上での介護過程を展開することができる。 ※実務者経験:①医療機関に所属していた。主業務は内科及び急性期医療部門を担当していた。※取得資格:看護師 ②福祉施設等に所属していた。主業務は障害児者及び高齢者の介護業務を担当していた。※取得資格:介護福祉士							
【到達目標】 施設利用者の生活の場を知ることができる。利用者への理解を深めることができる。利用者の思いを実現する具合的な方法論を知ることができる。ICFの視点に基づき、利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践することができる。利用者の状態や状況を把握した上での介護過程を展開し、地域における生活支援の実践をすることができる。							

授業計画・内容	
1回目	施設の役割を確認することができる①。
2回目	施設の役割を確認することができる②。
3回目	施設の役割を確認することができる③。
4回目	施設の役割を確認することができる④。
5回目	施設の役割を確認することができる⑤。
6回目	施設と利用者・家族・地域との連携関係を学ぶことができる①。
7回目	施設と利用者・家族・地域との連携関係を学ぶことができる②。
8回目	施設と利用者・家族・地域との連携関係を学ぶことができる③。
9回目	施設と利用者・家族・地域との連携関係を学ぶことができる④。
10回目	施設と利用者・家族・地域との連携関係を学ぶことができる⑤。
11回目	施設利用者の生活の場を知ることができる①。
12回目	施設利用者の生活の場を知ることができる②。
13回目	施設利用者の生活の場を知ることができる③。
14回目	施設利用者の生活の場を知ることができる④。
15回目	施設利用者の生活の場を知ることができる⑤。
16回目	施設利用者の生活の場を知ることができる⑥。
17回目	施設利用者の生活の場を知ることができる⑦。
18回目	利用者の思いを実現する具体的な方法論を知ることができる①。
19回目	利用者の思いを実現する具体的な方法論を知ることができる②。
20回目	利用者の思いを実現する具体的な方法論を知ることができる③。
21回目	利用者の思いを実現する具体的な方法論を知ることができる④。
22回目	利用者の思いを実現する具体的な方法論を知ることができる⑤。
23回目	利用者の思いを実現する具体的な方法論を知ることができる⑥。
24回目	利用者の思いを実現する具体的な方法論を知ることができる⑦。
25回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる①。
26回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる②。

27回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる③。
28回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる④。
29回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる⑤。
30回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる⑥。
31回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる⑦。
32回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる⑧。
33回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる⑨。
34回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる⑩。
35回目	利用者の生活の連続性について理解できる①。
36回目	利用者の生活の連続性について理解できる②。
37回目	利用者の生活の連続性について理解できる③。
38回目	利用者の生活の連続性について理解できる④。
39回目	利用者の生活の連続性について理解できる⑤。
40回目	利用者の生活の連続性について理解できる⑥。
41回目	利用者の生活の連続性について理解できる⑦。
42回目	利用者の生活の連続性について理解できる⑧。
43回目	介護福祉士の役割を体験的に知ることができる①。
44回目	介護福祉士の役割を体験的に知ることができる②。
45回目	介護福祉士の役割を体験的に知ることができる③。
46回目	介護福祉士の役割を体験的に知ることができる④。
47回目	介護福祉士の役割を体験的に知ることができる⑤。
48回目	介護福祉士の役割を体験的に知ることができる⑥。
49回目	介護福祉士の役割を体験的に知ることができる⑦。
50回目	実習の日々の学びを記録することができる①。
51回目	実習の日々の学びを記録することができる②。
52回目	実習の日々の学びを記録することができる③。
53回目	実習の日々の学びを記録することができる④。
54回目	実習の日々の学びを記録することができる⑤。
55回目	実習の日々の学びを記録することができる⑥。
56回目	実習の日々の学びを記録することができる⑦。
57回目	実習の日々の学びを記録することができる⑧。
58回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる①。
59回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる②。
60回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる③。
61回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる④。
62回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる⑤。
63回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる⑥。
64回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる⑦。

65回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる⑧。
66回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる①。
67回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる②。
68回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる③。
69回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる④。
70回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる⑤。
71回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる⑥。
72回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる⑦。
73回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる⑧。
74回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる⑨。
75回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる⑩。
準備学習 時間外学習	準備学習…「介護総合演習Ⅰ」の授業が実習の準備学習になるため、教科書の内容を熟読し、理解しておく必要があります。 時間外学習(復習)…実習中は、各科目の教科書や文献を熟読し、疑問に思う点についてはその都度、解決を図る行動を求めます。
評価方法	実習評価表、実習日誌の記載内容および巡回指導時の指導内容で評価します。成績の評価は、100点満点とする。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書：新・介護福祉士養成講座⑩「介護総合演習・介護実習」（中央法規出版）	